

2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域のみちづくりに関する現状と課題

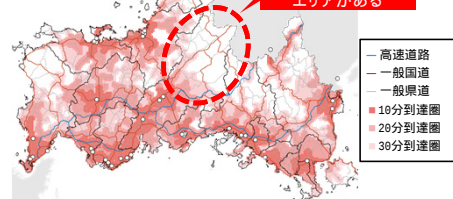
求められる主な取組

- 企業団地や広域交通拠点へのアクセス強化による**物流等の迅速化・円滑化**
- 周遊ルート形成による**観光客の利便性の向上**
- 県央の中核都市と周辺都市間の道路整備による**交流・連携の強化**
- バイパス整備等による**渋滞対策の推進**
- 交差点改良等による**交通安全対策の推進**
- バイパス整備等による**緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保**
- 緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- 離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

救急医療施設への到達時間

山口市北部地域は、2次救急医療施設がないため、救急医療施設への移動時間の短縮が課題です。

【2次救急医療機関の圏域】



県内共通 災害等による通行止め

平成25年7月28日、山口市(山口)で1時間に143.0mmという山口県内で観測史上1位、全国でも歴代11位の雨を観測し、国道9号や国道315号が通行止になるなど甚大な被害が発生しました。こうした災害による通行規制は住民生活に大きな支障を与えることから、災害に強いネットワークの確保が必要です。



【国道315号】

県内共通 大規模地震時の耐震性

大規模地震時の緊急輸送路を確保するためには、緊急輸送道路上の橋梁や離島架橋等の耐震補強を推進する必要があります。



滞在型の周遊観光

県内有数の宿泊収容力を有する湯田温泉を中心に、周辺の魅力ある観光資源と連携した「滞在型周遊観光」の促進に取り組んでおり、こうした取組を支える道路整備が求められています。

秋吉台



湯田温泉



防府天満宮



周辺都市との交流・連携

山口市のほぼ中心、県庁前からJR山口駅方面に延びる延長800mの「パークロード」周辺は、市役所や合同庁舎のほか美術館、博物館等の文化施設にも囲まれています。また、山口きらら博記念公園や維新百年記念公園といった大規模イベント開催施設も立地しており、こうした施設を活用し、地域の活性化を図るためには、周辺都市との更なる交流の拡大が求められています。

山口きらら博記念公園

中国地方最大の野外フェス「WILD BUNCH FEST」の会場として利用され、毎年多くの音楽ファンが集まります。



維新百年記念公園

維新みらいふスタジアムは、レノファ山口FCのホームスタジアムとなっており、ホームゲームの際には多くのファンが訪れます。



山口ゆめ花博は、平成30年9月14日から11月4日の52日間、1000万の山口県の花が咲き誇る会場で、1000を超えるイベントを繰り広げ、136万人が来場しました。

県内共通 道路施設の老朽化

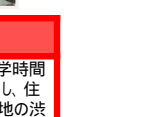
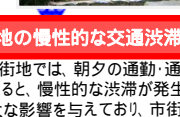
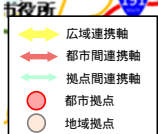
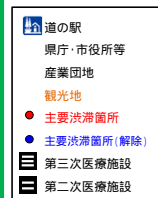
道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。このため、唯一の陸上交通手段である錦橋や都市間連携に寄与している松坂橋などの適切な対策が必要です。



県内共通 交通事故発生件数

山口・防府地域では年間600件を超える事故が発生しており、交通安全対策を推進する必要があります。

【交通事故発生件数】



市街地の慢性的な交通渋滞

山口市の市街地では、朝夕の通勤・通学時間帯や週末になると、慢性的な渋滞が発生し、住民生活に多大な影響を与えており、市街地の渋滞の解消が課題となっています。



【県道陶湯湯線】



【県道山口防府線】

物流等の迅速化・円滑化

山口テクニカルパークをはじめとした大規模な産業団地が整備されており、交通のアクセスの良さと津波や地震などの災害リスクの少なからず、多くの企業が進出しています。また、三田尻中関港は、山口県瀬戸内海沿岸の中央部に位置し、背後には、国内有数の大手自動車メーカーを中心とした自動車関連企業が主に立地しており、大型PCC船(自動車専用船)に積み込まれた完成自動車は、北米や欧州、豪州など世界各国へ配送されています。迅速かつ円滑な物流を確保するためには、基盤となる道路の整備を進めてい必要があります。



山口県

2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を'支える'

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

4-a 国道2号

4-b 県道防府環状線

人々のいのちを'守る'

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

4-c 県道山口防府線

4-d 県道山口旭線

災害に'備える'

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

4-e 県道防府徳地線

4-f 国道9号

未来に'つなぐ'

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

県道山口宇部線

県道防府停車場向島線

その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

道の駅

県庁、市役所等

主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
4-1	国道2号 (富海拡幅)	現道拡幅	完成 (R7)	●	●	●	●
4-2	国道9号 (仁保津工区)	無電柱化	事業継続	●	●	●	●
4-3	国道489号 (横山拡幅)	現道拡幅	部分完成 (R5)	●	●	●	●
4-4	県道宇部防府線 (黒湯)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-5	県道宇部防府線 (佐山)	現道拡幅	完成 (R5)	●	●	●	●
4-6	県道山口徳山線 (鳴滝)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
4-7	県道防府環状線 (牟礼)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-8	県道山口秋穂線 (鏡鏡司)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-9	県道陶湯田線 (黒川)	バイパス	部分完成 (R5)	●	●	●	●
4-10	県道防府徳地線 (鈴屋)	歩道整備	完成 (R6)	●	●	●	●
4-11	県道小郡三隅線 (小郡上郷)	交差点改良	事業継続	●	●	●	●
4-12	県道防府環状線 (浜方)	自歩道整備	完成 (R5)	●	●	●	●
4-13	県道高井大道停車場線 (台道通ヶ崎)	自歩道整備	完成 (R7)	●	●	●	●
4-14	県道高井大道停車場線 (台道駅南)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	●
4-15	県道宮野上佐々並線 (宮野上七房)	歩道整備	事業継続	●	●	●	●
4-16	都計道環状一号线 県道防府環状線 (新田)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
4-17	都計道泉町平川線 県道陶湯田線 (湯田温泉～平井)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	●
4-18	国道376号 (仁保～徳地)	のり面対策	事業継続	●	●	●	●
4-19	県道陶湯田線 (湯田跨線橋)	耐震化	事業継続	●	●	●	●
4-20	国道315号 (平岩トンネル)	長寿命化	完成 (R6)	●	●	●	●
4-21	県道山口宇部線 (割木松橋)	長寿命化	事業継続	●	●	●	●
4-22	市道中領長谷線 (山口市事業)	バイパス	完成 (R4)	●	●	●	●
4-23	国道2号 (台道・鏡鏡司拡幅)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
4-24	県道防府徳地線 (大崎)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-25	国道9号 (木戸山峠道路改修)	バイパス	事業継続	●	●	●	●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

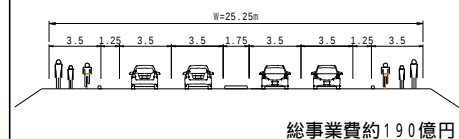
4-1 国道2号(富海拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	現道拡幅
● 延 長	L = 3.6km
● 幅 員	W = 25.25m
● 着手年度	平成23年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 周南市から防府市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 線形不良箇所の解消や中央分離帯を設置し、安全で円滑な交通を確保します。



4-3 国道489号(横山拡幅)

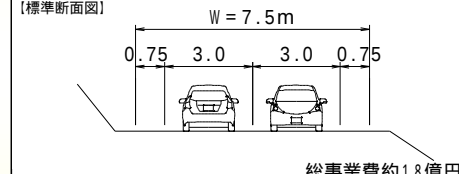
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	現道拡幅
● 延 長	L = 1.2km
● 幅 員	W = 7.5m
● 着手年度	平成25年度

R5
部分完成

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
- ◆ 中国縦貫自動車道徳地ICや国道9号へのアクセス性を向上します。



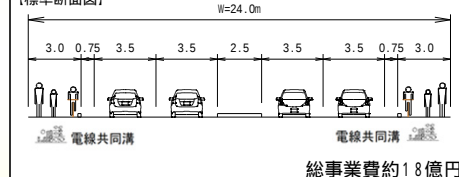
4-2 国道9号(仁保津工区)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	無電柱化
● 整備延長	L = 2.2km
● 幅 員	W = 24.0m
● 着手年度	令和2年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 安全で快適な通行空間を確保します。
- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ ライフラインや緊急輸送道路の安全性を確保します。



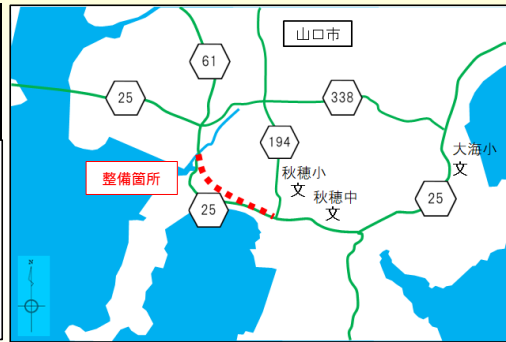
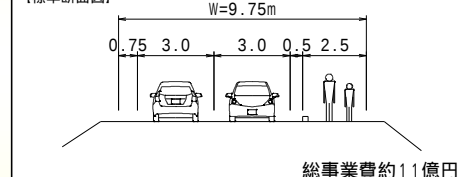
4-4 県道宇部防府線(黒湯)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	バイパス
● 延 長	L = 2.0km
● 幅 員	W = 9.75m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



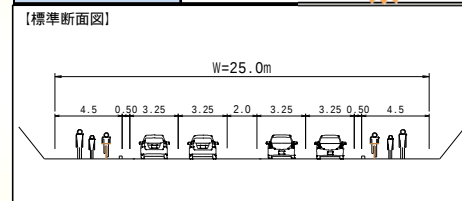
目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



支える	守る	備える	つなぐ
●		●	

● 内 容	現道拡幅	
● 延 長	L = 1.53 km	
● 幅 員	W = 25.0 m	
● 着 手 年 度	令和3年度	



整備前

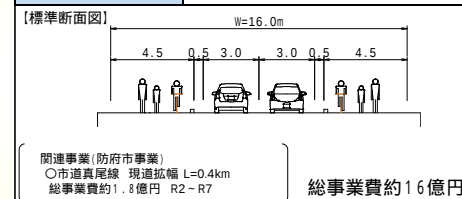
整備後

- ◆ 由良IC周辺における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 山口テクノパーク及び宇部テクノパークへのアクセス性を向上します。



支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

● 内 容	バイパス
● 延 長	L = 0.6km
● 幅 員	W = 16.0m
● 着 手 年 度	平成26年度

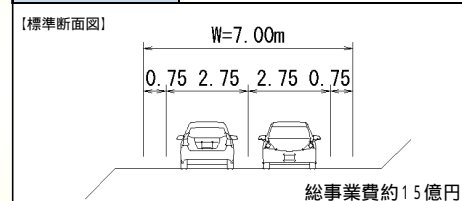


- ◆ 環状道路の形成により、市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 三田尻中間港から山陽自動車道や国道2号へのアクセス性を向上し、物流等の迅速化・円滑化を図ります。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



支える	守る	備える	つなぐ
●		●	

● 内 容	バイパス
● 延 長	L = 0.6km
● 幅 員	W = 7.0m
● 着 手 年 度	平成13年度

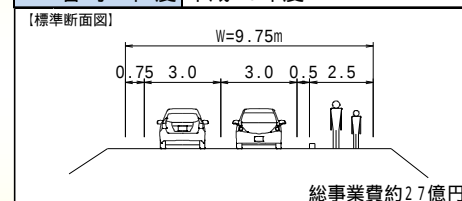


- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道262号へのアクセス性を向上します。



支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

● 内 容	現道拡幅
● 延 長	L = 1.3km
● 幅 員	W = 9.75m
● 着 手 年 度	平成25年度



- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 荷重制限がある橋を回避し、円滑な通行を確保します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

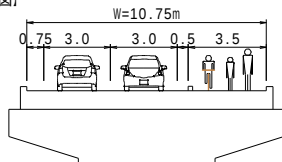
4-13 187 県道高井大道停車場線(台道遠ヶ崎)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	歩道整備
● 延 長	L = 0.3km
● 幅 員	W = 10.75m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



総事業費約8億円



目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



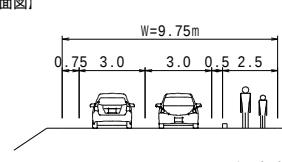
4-15 196 県道宮野上佐々並線(宮野上七房)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	歩道整備
● 延 長	L = 1.2km
● 幅 員	W = 9.75m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



総事業費約4億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



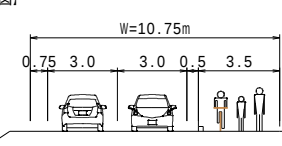
4-14 187 県道高井大道停車場線(台道駅南)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	歩道整備
● 延 長	L = 0.4km
● 幅 員	W = 10.75m
● 着手年度	平成30年度

【標準断面図】



総事業費約4億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



4-16 都計道環状一号線(新田)

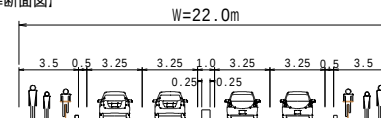
58 県道防府環状線

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	現道拡幅
● 延 長	L = 0.6km
● 幅 員	W = 22.0m
● 着手年度	令和元年度

【標準断面図】



関連事業(防府市事業)
市道中間三ノ樹線、市道四ノ樹三ノ樹線
バイパス L=1.0km 総事業費約13億円 H29～R11 総事業費約12億円



目的(効果)

- 三田尻中関港へのアクセス性を向上し、物流等の迅速化・円滑化を図ります。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

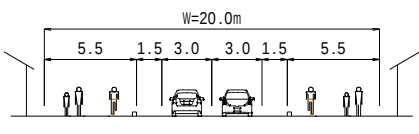
4-17 都計道泉町平川線(湯田温泉～平井) 〈200 県道陶湯田線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	自歩道整備
● 延 長	L = 0.9km
● 幅 員	W = 20.0m
● 着手年度	平成16年度

〔標準断面図〕



総事業費約56億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 市道東山通り下矢原線と一体的に整備することにより、市街地の円滑な交通を確保します。



部分完成区間



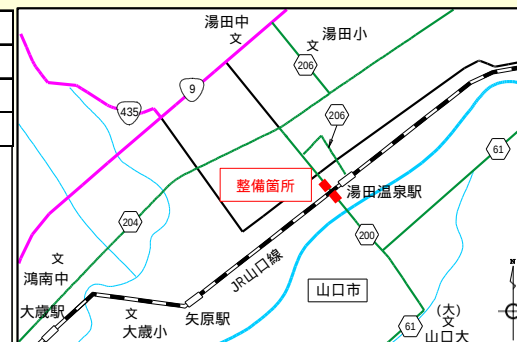
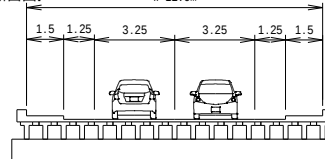
4-19 200 県道陶湯田線(湯田跨線橋)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内 容	耐震化
● 延 長	L = 0.1km
● 幅 員	W = 12.0m
● 着手年度	平成26年度

〔標準断面図〕



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



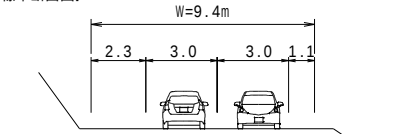
4-18 376 国道376号(仁保～徳地)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内 容	のり面対策
● 延 長	L = 0.6km
● 幅 員	W = 9.4m
● 着手年度	平成26年度

〔標準断面図〕



総事業費約2億円



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



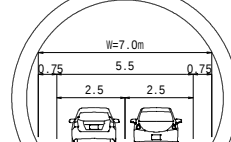
4-20 315 国道315号(平岩トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内 容	長寿命化
● 延 長	L = 0.1km
● 幅 員	W = 7.0m
● 着手年度	平成29年度

〔標準断面図〕

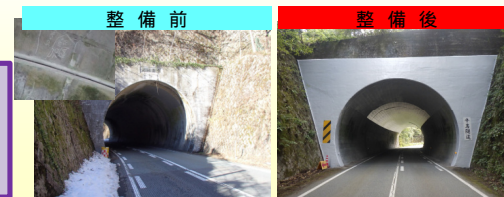


総事業費約1億円



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施、施設の長寿命化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

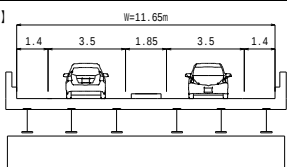
4-21 6 県道山口宇部線(割木松橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内 容	長寿命化
● 延 長	L = 0.04 km
● 幅 員	W = 11.65 m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



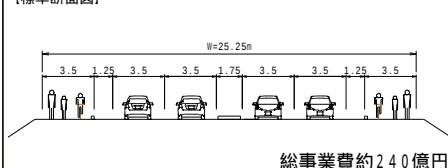
4-23 2 国道2号(台道・鑄銭司拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内 容	現道拡幅
● 延 長	L = 2.8 km
● 幅 員	W = 25.25 m
● 着手年度	令和6年度

【標準断面図】



総事業費約240億円



目的(効果)

- ◆ 防府市から山口市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 4車線化及び歩道設置等により、安全で円滑な交通を確保します。



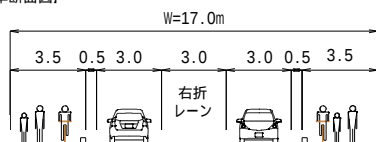
4-22 市道中領長谷線(山口市事業)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内 容	バイパス
● 延 長	L = 0.3 km
● 幅 員	W = 17.0 m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



総事業費約10億円



目的(効果)

- ◆ 駅前広場と一体的に整備し、交通結節点機能を強化するとともに、にぎわいある市街地形成を図ります。
- ◆ 新山口駅へのアクセス性を向上します。



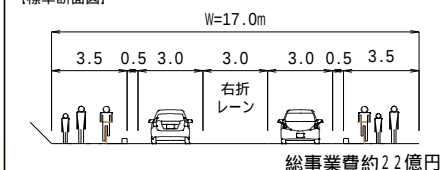
4-24 24 県道防府徳地線(大崎)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

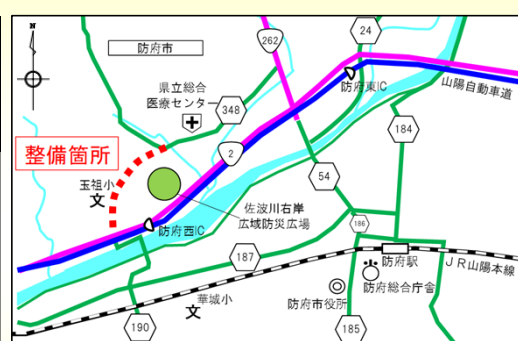
概要

● 内 容	バイパス
● 延 長	L = 1.3 km
● 幅 員	W = 17.0 m
● 着手年度	令和6年度

【標準断面図】



総事業費約22億円



目的(効果)

- ◆ 佐波川右岸広域防災広場や県立総合医療センターへのアクセス道路として機能し、災害への対応力の強化や医療提供体制の充実強化を図ります。
- ◆ 広域的な交流・連携の強化に資するネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

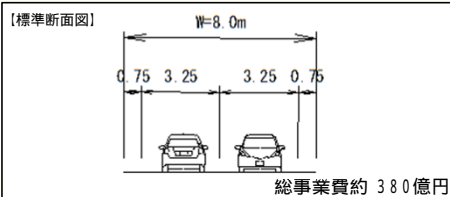
4-25 国道9号(木戸山峠道路改修)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内 容	バイパス
● 整備延長	L = 3.3km
● 幅 員	W = 8.0m
● 着手年度	令和7年度

R7
新規



目的(効果)

- ◆ 交通インフラの強靱化や物流の更なる円滑化を図ります。
- ◆ 急勾配区間、線形不良箇所を回避することにより、走行安全性が向上します。
- ◆ 災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されます。

